

2021年度（令和3年度）事業報告書

2022年6月

公益社団法人こども環境学会

2021年度（令和3年4月1日より令和4年3月31日まで）に次のような活動を実施しました。

記

①（公1）教育・啓発事業

A 大会の開催

大会の開催 長野県佐久市で開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、ハイブリッド方式（リアル開催およびオンライン開催の併用）

テーマ 『自然とともに暮らすこども～生きる力を育むには～』

エクスカージョン『やまほいく見学コース』『学びの環境 小学校見学コース』

基調講演 「SDGs へのこども環境～自然に遊び・学ぶ環境が今求められる」

シンポジウム

「SDGs へのこども環境～自然に遊び・学ぶ環境が今求められる」

「5歳児保育のPBL(project based learning)活動におけるデジタル（ICT）活用に関する実践研究
－NHK キッズアプリの活用を通して－」

「新型コロナウイルス禍における子どもを取り巻く環境－アンケート調査結果を踏まえて」

のテーマで開催。

分科会： こどもの暮らしと環境（こどもが自然でいられる環境）

「こどもと災害」「こどもの学びの環境」「こどもと健康」などについて開催。

ワークショップ、ポスターセッションを開催した。

大会参加は 実際の参加 のべ219名、オンラインのべ約205名

B セミナー、シンポジウムの開催

- ・こども環境学セミナーの開催・・・新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。

- ・こども環境学会 2022年大会（東京）プレ・セミナー

テーマ 「現代の子どもの健康課題」

2021年11月13日（土曜）に オンラインで開催をした。

講演 基調講演 「現代の子どもの健康課題」

パネルディスカッション 「地域とのつながり方からみたこどもの環境」

参加 102名

C 広報活動

- ・本会の活動に関する学会誌2回を発行した。発行部数1固につき約1,200部。
- ・ウェブ・サイトの管理、サイトの全面リニューアルを行った。メールマガジン（サイト上にウェブマガジン）の発行を行った。
- ・令和2年4月以降、新型コロナウイルスに関する呼びかけ（プレスリリース）を行った。

D 災害等復興支援活動

福島県からの受託事業「福島県こども環境セミナー業務」「こども環境創生事業」

新規に「福島県保育所等環境改善巡回指導業務」を受託し、オンラインの方法も含めて提案、指導を県内各地の保育園、こども園に対して行った。

E パンフレット、書籍出版活動

- ・発行物の刊行に関して研究等の成果のとりまとめ、編集を行った。
- ・サイト上にウェブマガジンの掲載を行った。(上記Cの通り)子ども向けのイラスト入りパンフレットの発行、サイト上での無償公開を行った。

② (公2) 研究・評価事業

- ・子ども環境に関する研究活動、評価を行った。設置されている研究会：
子ども環境研究会北海道、北陸子ども環境研究会、東海子ども環境研究会、子ども環境研究会関西、子ども環境研究会関東、発達障害と生活環境を考える会、情育環境研究会、困難をかかえる子どもへの支援研究会、あそびをせんとや生まれけむ研究会、「スポーツ・あそびの集中力を高めるための装置—デバイディングカーテン—の効果に関する研究」研究会
上記の研究会にて研究、調査等を行った。

- ・研究・評価事業に関連する子ども環境学セミナー、その他のセミナーは、中止した。
- ・東日本大震災の災害被災地における子どもの環境等について、研究、評価活動を行った。
- ・子ども環境研究センターにて、研究活動・・・ コロナのため十分な実施ができなかった。
- ・アンケート調査を実施した。
「コロナ禍に関するアンケート調査を実施した。調査結果の報告書をウェブサイトに掲載している。今後も継続して分析を行っていく。
- ・発行物の刊行に関して研究等の成果のとりまとめを行った。
- ・査読部会にて、論文の査読を行った。人数 37 名、査読された論文本数 16 本。

③ (公3) 資格認定、顕彰事業

A 子ども環境アドバイザー資格の認定

子ども環境の知識、経験、ノウハウ等を持つ者に対して本会独自の資格を設け、認定する。

第14回子ども環境アドバイザー資格講習会

2022年3月に実施(オンライン開催)

資格認定参加者は全員で18名(新規受講16名、再受講2名)、2021年度中の新規認定者は7名。

B 子ども環境学会賞の公募

子ども環境の発展に寄与する、優れた論文・著作、デザイン、活動、自治体施策に対し、専門家による選考委員会の審査を経て顕彰した。

今年度は、応募締切の2021年11月末までに論文・著作賞7件、デザイン賞10件、活動賞3件、自治体活動施策賞1件、合計21件の応募があった。

選考委員による厳正な審査の結果、論文・著作賞0件、論文・著作奨励賞1件、デザイン賞1件、デザイン奨励賞3件、活動賞0件、活動奨励賞1件、自治体施策賞0件、自治体施策奨励賞1件、以上合計7件が選定されました。

表彰式は、2022年7月の東京大会(日本女子大学)にて行う。

(氏名は敬称略) 以上